

# 公共施設マネジメント通信 vol.3

平成 29 年度

第 2 回まちづくりワークショップを開催しました！

平成 29 年 12 月 6 日発行

小田原市 企画部

公共施設マネジメント課

鴨宮地区

進行：工学院大学 建築学部

遠藤 新 研究室

## 意見交換の概要

日時：10月24日(火)18:30~20:30

参加者：16名

場所：川東タウンセンターマロニエ 203 会議室

傍聴者：5名



## 第 2 回テーマ

どんなサービスや施設を再編することができるのか話し合う。

## 意見交換の論点

- A. 行政／民間／市民の役割分担
- B. 組み合わせた方が良いサービス
- C. 近隣で重複しているサービス
- D. 隣の町にあれば良い施設
- E. 現在のサービスの効率化を図る案
- F. 今の建物より有効利用できる施設
- G. 歩いて行けると良い施設

## 流れ

○意見交換・まとめ（70分）

○発表・質疑応答等（30分）

### A. 行政／民間／市民の役割分担

○支所の窓口サービスをコンビニに委託することは良い。

○各施設を循環するシャトルバスは民間でもできるのではないかな。

### C. 近隣で重複しているサービス

○地区内の図書館機能が多いように感じる。

### E. 現在のサービスの効率化を図れる案

○「美の創作室」など部屋の使い方を指定せず多目的化する事で、施設の稼働率を上げる必要がある。

○移動図書館などの対応が欲しい。

○若い人は夜間に手続きしたい。

### G. 歩いて行けると良いもの

○支所などの窓口サービスは徒歩圏にあると便利である。

○高齢者向けの施設は、点在させるか、アクセスを良くしてほしい。

○分散配置して良いものとそうでないものを見極める事が必要。

### B. 組み合わせた方が良いサービス

○学校に幼稚園・保育園、老人ホームを統合させ多世代交流を図る。

○支所や分館、給食施設は統合できそう。（老朽化が進んでいる。）

### D. 隣の町にあれば良いもの

○給食センターは広域化できる。

### F. 今の建物より有効利用できるもの

○学校の空き教室やマロニエの空室時は、民間塾などに貸出を促し料金を徴収すれば利益になる。

○集約してできた空地は子どもと高齢者が関われる使い方をする。

### その他

○市の窓口は減らさないでほしい。

○公共施設を使わない人の意見も必要である。（特に若い人）

○まちの文化や歴史などを考慮して計画を考えてほしい。

○子どもが遊べる場所がほしい。



意見交換の概要

日時：10月23日(月)18:30~20:30 参加者：14名  
場所：梅の里センター 大会議室 傍聴者：3名



第2回テーマ

これからの千代地区の暮らし方について考えよう

意見交換の論点

- ①どんな暮らしが望ましいのか
- ②そのために必要なこと
- ③そのためにどんな公共施設が必要か

流れ

- 自己紹介（30分）  
（よく利用する公共施設の紹介）
- 意見交換・まとめ（50分）
- 発表・質疑応答等（20分）

①理想のまち

- 笑顔のあふれるまち
- 気軽に近所付き合いできるまち
- 対話のあるまち
- 高齢者の住みよいまち
- 多世代交流ができるまち
- やってみたい事が多くあるまち
- 子どもが遊べるまち
- 子育てしやすいまち
- 文化芸術を身近に感じれるまち
- 簡単にどこでも行けるまち
- 駐車場を考えず出かけるまち
- 未病に貢献できるまち

②必要なもの

- 気軽に声かけ
- サロンや井戸端会議できる場所
- 集まる場と機会づくり
- 高齢者と未就学児が触れ合える
- コミュニケーションがとれる企画
- 保護者のつながり
- 遊び場・広い場所
- こども・親を含めた支援機能
- 文化施設の充実（学校開放等）
- 乗り合いタクシー・シェアカー
- 公共施設の循環バス
- スポーツ・アスレチック

③求められる公共施設

- ポケットスペース
- 集会施設
- 多機能複合施設
- レクリエーション施設
- 子育て支援施設
- 図書館・博物館
- コミュニティバスの強化
- 路線バスの強化
- 運動場



【問い合わせ先】

小田原市企画部公共施設マネジメント課  
 TEL：0465-33-1305 FAX：0465-33-1286  
 Email：shisetsu@city.odawara.kanagawa.jp  
 〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地